



全国的に空き家の増加が問題となるなか、市の空き家対策について話し合う協議会の初会合が1月17日、総合福祉センターで開催されました。

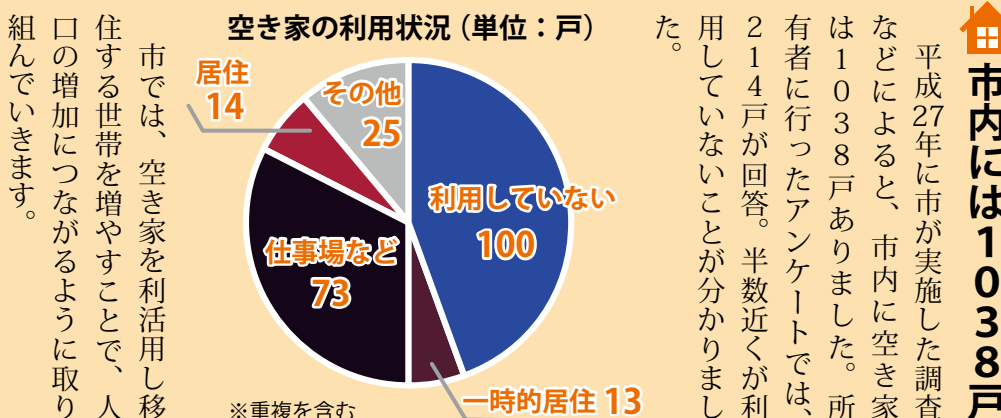
協議会では、空き家の利活用や適切な管理方法、特定空家等^{*}に対する措置などをまとめた空家等対策計画、特定空家等の判定基準などを決めていきます。

この日は弁護士、土地家屋調査士など10人の委員らが出席。計画策定のための意見交換を行いました。委員からは、「第3者が相続人の間に入り、売却などを円滑に進める仕組みづくりが必要」、「市の中心部に空き家が多いのは、細い道が関係しているので行政のフォローが必要」などの意見が挙げられました。

今後は、4月に2回目の協議会を開催する予定。挙げられた意見をもとにした計画素案を示し、9月中の計画策定を目指します。

問い合わせ 人口増推進室（☎②8308）

^{*}特定空家等
倒壊など著しく保安上危険となる恐れがある、衛生上有害となる恐れがある、管理不全で景観を著しく損なっているなど、そのまま放置することが不適切な状態にある空き家



空き家の利活用で人口を増やす



下 原福興委員会では「みんな下原に集まろう」と題した催し物を定期的に開催しています。

2月3日は、下原公会堂前の倉庫で節分に合わせたイベントが行われ、被災者ら約150人が参加しました。同委員会女性部による恵方巻きや豚汁の炊き出しが行われ、参加者は家族や友人同士で会話を楽しみながら恵方巻きを口にして、早期の復興を願っていました。

被災地に「福は内」 下原節分イベント



家族で恵方巻きを口にする参加者

神奈川伊勢原市から



飯嶋 智雄(危機管理室)
総社市の1日も早い復興のため、全力で職務にあたります。よろしくお願いたします。

新 たに1人の応援職員を迎えました。氏名・配属などは次のとおりです。

問い合わせ 総務課職員係（☎②8220）

全国から 総社市役所へ

そうじゃ 復興レポート

西日本豪雨の復興状況などをお伝えします。



総社市への支援金
ありがとうございました

9億6114万円

西日本豪雨に伴う支援金は2月7日までに、9億6114万1736円（県からの義援金を含む）をお寄せいただいています。

温かい支援に心よりお礼申し上げます。全員のお名前を掲載するのが本意ではございますが、紙面の都合上100万円以上の寄付をいただいた個人・団体のみ掲載させていただきます。

■高額寄付者（1/8～2/7）
両備グループ代表兼 CEO 松田久【敬称略】

■被害状況 リ災証明書発行件数（住家のみ）

全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊
84	168	367	521

2月7日現在

復興計画（案）に関する ご意見を募集しています！



対象者 市内に在住、在勤、在学、事業所などがある人
閲覧方法 復興推進室、各出張所（土・日曜日、祝日を除く午前8時30分から午後5時15分まで）、市ホームページ
提出方法 様式は自由。住所、氏名、電話番号、復興計画（案）に対する意見を書いて、持参か郵送（必着）、ファクシミリ、電子メール、市ホームページ内からリンクする入力フォームのいずれかで提出。意見には、対象となる部分が分かるように、ページ数なども併せて記入してください。電話や口頭での意見は受け付けません
募集期限 3月11日(月)
その他 個別の回答は行いません。全ての意見を整理し、市の考えをホームページなどで公表します
提出先・問い合わせ 復興推進室（☎②8570、Fax ③9479、Eメール hukkou@city.soja.okayama.jp）

※みなし仮設住宅、公費解体の申込期限が迫っています。詳しくは10ページをご覧ください
※県の子ども災害見舞金については、11ページをご覧ください